

“実演講習会”『開催

今年度の講習会として、「撮影の基本を教えてください」と山下さんをお願いしたところ、実際にカメラを操作して学ぶ“実演”講習が良いとのこと、12月2日(土)午後、立川センタービル・NHK会議室で会員23名を集めての講習会となりました。



冒頭、山下さんから「プロが要求される撮影姿勢、カメラの構え方、三脚の立て方などをアマチュアの機材でどこまで出来るか、確認したい」とのお話がありました。

三脚の立てかた：背筋を伸ばし、顔を真っ直ぐにして、ファインダーが目の前に来るまで三脚を上げる。

撮影方法：液晶モニターは使わず、ファインダーに目を密着させて 見る。ファインダーの中の四隅が全部見えるようにするため、ファインダーの軸の真ん中を視ること。そのためにも、目をファインダーに付けなくてはならない。

また、ファインダーを起こして角度を付けることも止める。これは両眼を開いて被写体を真っ直ぐ視ることが出来なくなるから。

三脚の脚の位置：脚の1本を股に挟む姿勢と、2本の脚の間に身体を入れる姿勢とがある。これはパンをする時の腰の移動の幅に応じて構え方を変えるのである。

踊りの撮りかた：フルショット、ウエストサイズ、足元ショット、手元、顔などの5つのサイズが基本。

最初の1コーラスぐらいはフルショットを多く撮る。そのあと、足元、手先、扇、顔などをアップで撮る。下半身から上半身へ移るとき、下半身のサイズのまま振り上げるように動かし、上げたときに顔が必ず入るようにする。

絵を描く人の撮りかた：フルショットからカメラを近づけて上半身ショット、手元から顔へアップで撮る。後ろへ回って肩越しに絵を写す。その位置から写生している風景そのものも撮る。描いている人の表情と筆先の動きを連動してアップで撮る。以上の8ショットを山下さんが実演して見せてくださった。



このように、一つの被写体を「カットの積み重ね」で撮ることが必要と力説された。

本を読む人の撮りかた：フルショット、上半身ショットの次に顔のアップと、目のアップで目の動きが判るように撮る必要がある。また、本の字面(じづら)が判るアップも必要。

「越(こ)しショット」は、この人がこういう作業をしている、と説明するのに重要なショットだ。

取材とは?：アクションが幾つかある場合、総花的に全部を撮るのではなく、ストーリーに必要なアクションのみについて、6カットでも10カットでも集中的に“カットの積み重ね”を行う。このように映像を選ぶことが取材である。

インタビューの撮りかた：まず二人をフルショット、次にゲストのウエストショット、次いでインタビュアー(聞き手)を撮る。聞き手が黙って肯いているショットも撮っておく。あとの編集で、ゲストの話が途切れてカットが飛ぶところに“うなづきカット”を挟む。インタビューで大事なこと



は、話の中身を取材者として判っているかどうか、だ。

マニュアル（手動）撮影の練習：各自のカメラで露出とピント合わせを練習。人が被写体の場合、最大の望遠で目にピントを合せたのち、必要なサイズまで引いてくる。**山下語録**：「マニュアルでカメラを使いこなすことが、カメラに使われずにカメラを使うことになる。」

山下さんの最後の結語：「一番大事なことは、**顔が真っ直ぐ前を向いていること、ファインダーを完全に目に押し付けていること、ファインダー内の四隅がいつも見えていること、の三つが大事です！**」

以上のように、内容の濃い、行き届いたご指導をいただき、会員一同が“超感謝”した半日でした。山下さん、本当にご苦労さまで、有り難うございました！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

みんなの広場



メンテナンス

西尾 尚武

日頃、経年劣化による編集用DVレコーダーが突然故障してしまった。昨日まで機器が作動していたのでメンテナンスなど考えてもいなかった。修理代はとても高かったけど、趣味のビデオ編集が出来て安心である。今度は自分の身体のこと、転ばぬ先の杖と思、榊原記念病院に心臓カテーテルをはじめ12項目を10日間検査入院しました。その結果、冠状動脈に異変があると判定が下り、まな板の鯉の気持ちで、がんばらないけどあきらめない、いま、手術をする前向きな方向でいます。まだまだビデオカメラと遊んでいたいから・・・。



山下先生の
実演講習会

岩沢 初男

山下先生の三脚とカメラを使つての撮影の基本の講習では、まず三脚を目の高さに合せて水平にし、カメラをマニュアルにして、ファインダーの四隅まで視ながら、サイズを変えて撮影することや、窓際の人の逆光で暗い顔の撮りかたを習って、顔が黒くならず綺麗に撮れたので、これからはマニュアルで撮影したいと思いました。大変良い勉強になりました。また、会のために、渡辺会長をはじめ役員の方々が熱心に活動しているのを見て、山下先生も一層力を入れて下さるのだろうと思います。

第2回 『クラブ内ビデオコンテスト』のお知らせ

平成19年2月3日（土）午後1時30分～

これぞと思う自主作品（5分前後、長くて10分以内）を発表してください。出席会員全員の投票で入賞作品を決めます。

（編集後記）

今月の会報は『自演講習会』の報告特集で、“我流”の誤りを正して頂いた山下さんに改めてお礼を申し上げます。また、努めてマニュアル撮影を心がけましょう！

文責・レイアウト：渡辺（實）

印刷：菅原

